

やすらぎだより

4
月
号

陽気で緑にあふれた生活 それやすらぎ園です

施設長コラムバックナンバーホームページ掲載しています。

コラム第166号

「時代はめぐる」

施設長 植田 誠



♪めぐる め〜ぐるよ時代〜はめぐる 別〜れと出合いを繰り返〜し
今日は 倒れ〜た 旅〜人達も 生まれ変わって 歩き出〜すよ♪

あの中島みゆきが44年前に作った名曲、「時代」の2番サビの部分だ。童謡、唱歌がほとんどの‘日本の歌百選’に、この歌が選ばれるのには訳がある。それはこの歌詞にあると推測する。

1番では「まわるまわるよ」が、この2番では「めぐるめぐるよ」に代わっていく。‘まわる’は時と共に繰り返す、‘めぐる’は過去のことが繰り返される。微妙な言い回しを通し‘苦しさも必ず過ぎ去る’ことを、弱冠23歳の天才は世に伝え、そして歌い継がれてきた。

平成が終わりを迎えた今、時代はまさにまわりそしてめぐりゆく。よく‘激動の昭和’と言われたが、私は‘猛進の昭和’とイメージする。戦争という名の猪突な姿は国を動かし、やがては廃墟と化したのが立て直した。では平成はどうか、‘迷走の平成’と例えられるが、私は‘平々たる平成’と例える。平々凡々の意味ではなく、頻繁に繰り返された時代を言う。災害をはじめとする災い、逆に進歩のある幸い、これらが巡り巡った30年間だったのではないか。

詰まり、時代はまわり続け、そしてこれからもめぐっていくのだ。元号が変わっても、そのことは変わらない。これからも人々は、時には倒れる旅人とはなるが挫けず歩き出し、再起を果たしながらその時代に感謝をするだろう。

今日は平成31年3月29日、私は冷静を装いながらも、数日後の発表に心踊らされるに違いない。掲げられるその二文字に、たぶん一喜一憂するのであろう。いや、もしかすれば違和感に包まれながら、馴染まぬ言葉にさいなまれるかもしれない。

そんな時は、再び聴こうあの歌を、そして口ずさもう‘めぐるめぐるよ 時代はめぐる’この名曲を。



社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- 特別養護老人ホーム やすらぎ園
- 在宅サービス事業所
- 居宅介護支援事業所
- 訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 短期入所生活介護事業
- 在宅介護支援センター
- 天理市東部地域包括支援センター
- ケアハウス やすらぎ
- 介護予防関連事業
- グループホーム むつみあい
- 住まいの生活支援事業